



宿南地区自治協議会総会 開催

4月28日（月）宿南ふれあい倶楽部ホールにて令和7年度総会を開催しました。運営委員69名中56名の出席（うち委任状23名）で開催されました。議長（高木 将人様）進行のもと第1号議案～第5号議案が審議され、すべての議案は原案通り可決されました。

今年度の役員と主な事業計画の報告をさせていただきます。

【宿南地区自治協議会役員】

【宿南地区自治協議会専門部会】

役職名	氏名	備考
会長	維田 浩之	口三谷区長
副会長	宿南 正樹	寄宮区長
会計	池田 浩	川西区長
理事	川瀬 利昭	町 区長
	西田 毅	川東区長
	小田垣 重作	門前区長
	多田 勝俊	青山区長
	太田垣 均	奥三谷区長
	西田 雄一	地域づくり部 部会長
	高木 史郎	体育部 部会長
	宇和野 雄介	文化部 部会長
	中田 秀泰	福祉部 部会長
監事	西田 毅	
	小田垣 重作	

専門部会名	役職名	氏名
自治振興部	部会長	維田 浩之
	副部会長	宿南 正樹
地域づくり部	部会長	西田 雄一
	副部会長	宿南 宏行
体育部	部会長	高木 史郎
	副部会長	西村 芳一
文化部	部会長	宇和野 雄介
	副部会長	西井 智巳
	副部会長	原 いずみ
福祉部	部会長	中田 秀泰
	副部会長	田中 美晴



【事業計画】

主な事業の確定分のみ掲載しております。その他計画事業も多くありますので、その都度お知らせします。

6月22日（日）	体力測定会	体育部
6月29日（日）	農家日役	地域づくり部
10月 4日（土）	宿南地区総合運動会	体育部
10月26日（日）	村民号（京都方面）	体育部
11月30日（日）	宿南地区文化祭	文化部

身近で見られる植物④⑦

カキドオシ（垣通）〈シソ科〉

この季節、フジをはじめ紫色の花が多く見られますが、この花もその一つ。ツル性の多年草。庭先、畑の縁などで見られます。垣根を越えて伸びていくことから、この名前が付いています。カントリソウとも言われ、疳の虫に効いたり、利尿効果もあるなど薬草としても利用されます。



喫茶ひまわり より

5月19日（月）5月22日（木）

美味しい3色だんごを手作りしてお待ちしています。

農作業の合い間に糖分補給！
ぜひ、おこし下さいね！



宿南地区自治協議会就業時間変更について

平日 8時30分～17時00分

実施日 令和7年5月1日から

ご不便おかけしますがよろしくお願いします。

お知らせ

5月22日（木）	第1回	体育部部会
5月26日（月）	第1回	福祉部部会
6月 1日（日）		クリーン作戦



草庵先生紹介

日記 75



宗恩寺の境内で行われる塾生や農民の武芸の訓練を見る草庵（中央奥）

宮崎和夫さん作

「（前略）夕刻、京都の医生玉置主鈴が来てしばらく話す。その後玉置は退去する（後略）」（文久3〈1863〉年8月30日）京都で医学を学んでいる玉置主鈴と名乗る者が来たのだ。草庵にとっては初対面の人だ。話し合いの内容は書かれていないが、幕府を倒すために立ち上がろうという誘いであったと思われる。草庵は、その日記の玉置主鈴の名前を書いた横の余白に、「後で分かった、玉置氏とは福岡藩を脱藩した平野次郎という者」と書き加えている。この1カ月半後には、この平野らを中心として生野代官所を襲撃した生野の変が起きている。平野は青谿書院を出て行った北垣晋太郎（国道）らとも通じていた。草庵にも仲間に入ってほしいと訪れてきたのだ。しかし、やはり草庵は動かず、平野はすぐに書院を退去した。平野次郎（国臣）は、福岡藩の藩士で討幕尊皇攘夷の行動を起こした人である。31歳で脱藩し薩摩藩の西郷隆盛らと親交を持って活動していた。

「早起きする。（中略）午後。宗恩寺に行き、武術の訓練を夕方まで見る。晩方帰院」（同年10月10日）。この日記は、生野の変の2日前のことだ。宗恩寺（現・養父市八鹿町宿南）は書院の近くにある曹洞宗のお寺。境内はかなり広い。ここで塾生たちが武術の訓練をしていた。それに、付近の農民も武術の訓練をしていた。この時代、但馬のあちこちで農民兵が組織され訓練がされていたのだ。書院を出た北垣晋太郎は、これら農民兵の組織化を唱えて行動していた。書院の周辺にも、急変する時勢が押し寄せていた。草庵はこのころ、広島友人吉村秋陽に次のような手紙を書いている。「様々なことを聞かたびに、ただ嘆息の思いのみ。私は心を尽くし 志を立て黙々と学問をし 若者を育てる外は無しと考えている。この学問は、万々天下に何が起きても世の中がどうなろうとも、再興の基がある。国が都合よくいけば、幸い。万一の事が起こっても、再興の手段はこのことより他はないと決心している」（木南卓一著「草庵先生の日記」から）

周辺があわただしく動く中で、書院から動かない草庵の思いが伝わってくる。

池田草庵先生に学ぶ会